

大通公園を望む窓辺から

手帳雑感

副会長 小熊 豊

最近では電子手帳を用いて、多くの方がスケジュール管理を行っている。ITに疎い私はガラ携の電話機能を唯一使うのみで、スマホなどの便利な他の機能を利用することができない。

その代わりに、私の手許には1998年からのさまざまな色、形の使用済み手帳が残っている。小さく薄い手帳から、徐々にB5判の大きく厚い手帳に移り、あまりの重さに今はまたA5判サイズに変更している。小さな手帳は持ち運びに便利であるが、書き込みスペースが小さく、予定が重なると後で何と書いたか自分自身でも判読できない時があり、スケジュール管理の用をなさなくなることがある。B5判にするとその問題は解決され、余白のページが多く、すっかり物忘れするようになった私にとって、大事なことをメモしておくのに極めて便利であるが、何せかさばり重い。その点、A5判位が丁度良いように思う。

最近では、予定表書き込み欄が真っ黒になるにつれ、スマホ依存症ならぬ手帳依存症となり、1日に何度も手帳を開いては中身を確認しなければ心理的に落ち着かなくなっている。予定表に空白などがあると、言い知れぬ不安感にさいなまれる。一方、ごくまれに過去の手帳をめくると、昔体験したことなどが頭の中に甦り、時代の流れ、自分の過ぎ去りし日々を感じるができる。

このように何とも手帳とは便利で、離れがたく有難いものであるが、この先手帳に何も書かなくても良い生活が何時くるのかと考えたりする自分が居る。

悩ましくて滑稽な今の姿であるが、まだ当分は手帳を頼りに時間を切り売りして暮らすしかないと思っている。

新千歳空港の除雪を考える

理事 沖 一郎

昨年の12月の天皇誕生日の連休に雪のために3日間に渡って閉鎖され1万人以上の人が空港で泊まり外国人が騒動を起こしました。今までにも無かった様な空港閉鎖、航空機欠航の大事件でした。その悪天候の真っ最中に私もすっかり巻き込まれてしまいました。23日の正午から娘の結納が東京明治記念館であるため22日の3時の便に乗る予定でした。22日の午前中から雪が降り始めたため急遽1時の便に変更してもらい何とか雪の降る中東京行きに搭乗しました。

少し遅れて飛行機が動き始め誘導路から滑走路に向かって少しずつ移動していましたが途中で突然止まってしまいました。しばらく何の放送も無くそのうち滑走路の除雪のため待機しているとのこと、そのうち一本の滑走路を閉鎖して除雪の放送。一本は空いているからもう少しだと思っていると両方とも閉鎖したので除雪が終わるまで飛行機を降りてください、の放送。おいおい、大丈夫かよ、と少し焦ってきました。この便が飛ばねば今日はダメだな、と思い、飛行機の中で携帯から明日の朝の便を予約しようサイトを見ると残り後一席が9時の便に空いており何とか予約してから降りました。

飛行機に4時間おり搭乗口でさらに2時間待ち今日はすべて欠航の放送。がっかりしながらも苦小牧に帰りつき翌日の天候に賭けました。

翌日23日は朝から雨交じりの雪で6時半に千歳に着くと昨夜泊まった人で溢れ殺気だっていました。私は12時までに着かなければ娘や家内にあわせる顔がないので祈るような気持ちで9時の便にのりました。出発が少し遅れましたが無事東京に着くことができ、12時5分前に明治記念館に到着し私の口上がしどろもどろになりながらも何とか無事結納をすませることができました。

以前の航空自衛隊の滑走路を使っていた時はほとんど除雪による欠航は無かったように記憶しています。自衛隊は常にスクランブル体制ですので滑走路はしっかりと除雪されていたようです。民間の滑走路に移ってからの除雪体制は自衛隊ではないのでそこまでの体制はできていないようですが今回のような雪はこれからも起こる可能性が高く機材の運用を含めて専門除雪部隊を自衛隊のように通年体制で準備する必要があると確信しました。

